

ココロに川を TAMAGAWA QUARTERLY vol.17

GREEN PRESS

SPRING 2007

花はハピネス!

view

花のオーラ、
花のマジック

personal

森 麻季

【ソプラノ歌手】
インタビュー 花のときを迎えて

selection

【ファッション&トレンド】
花のように美しく
輝いて

information

百花祭

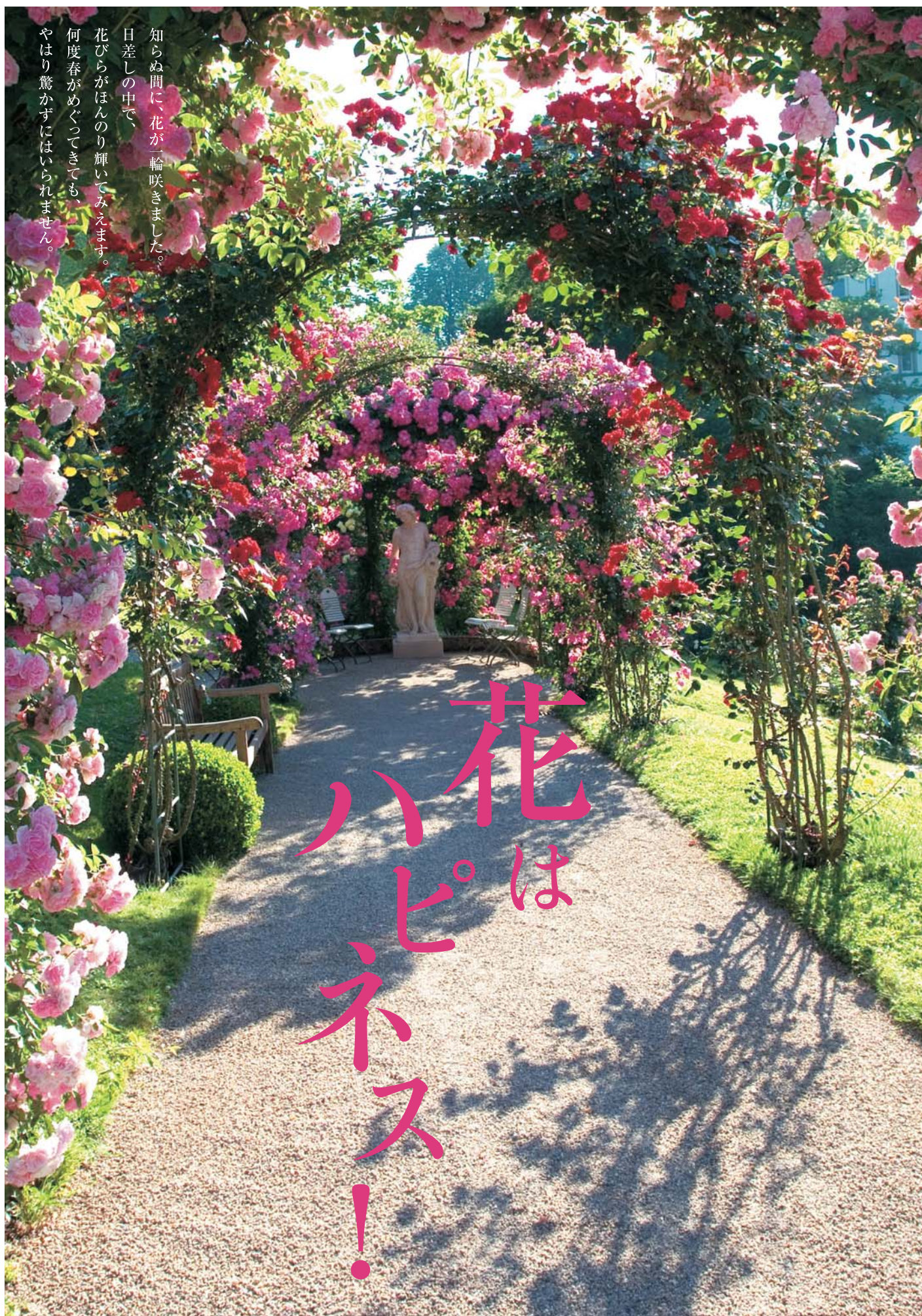
優雅なライフスタイル Happy Graceful Days! etc.

玉川高島屋SC

<http://www.tamagawa-sc.com>

知らぬ間に、花が輪咲きました。
日差しの中で、
花びらがほんのり輝いてみえます。
何度春がめぐってきてても、
やはり驚かすにはいきません。

花は
ハピネス!
ハピネス!





あの小さな種の中に
こんなにあかるい色や
やさしい香りが隠されていたことに。

いつの間にか、千の花々がひらきました。
水仙の香る早春から桜の季節へ

アネモネ、スマイレ、
そしてバラの咲く初夏へと
輝かしい音楽のように進んでゆく
花々の時間。

決して時期をあやまつことなく
花々は満開のときを迎えます。

一輪の花にふれたとき
満開の花々につつまれるとき
心の中にも、花がひらきます。

花はまるで、幸福の結晶。
私たちの心も、

自分を最も美しく咲かせるすべを
本当は、知っているのかもしれない。
今こそ、花ひらくとき。

あふれ咲くハビネスの花たちとともに
新しい、まっさらな時間が
始まるうとしています。



「しあわせへの「約束」 オレンジの花で花嫁になる」

結婚には、いろいろな「約束」があり、それになるほどと思わせる理由があるもの。西洋の約束の定番は、花嫁は「オレンジの花」を身につけること。なぜならオレンジの花は、花と果実が同時に実るため、繁栄のシンボルとされているからです。プーケとしてより、花冠などにして髪を飾ることが多いです。ちなみに、オレンジの花にはネロリドールという成分が含まれていて、その精油（ネロリ油）の香りにはリラックス効果があるとされています。スキンケアなどに数滴加えて使えば、お肌への「しあわせ」も期待できるかも。

「ワンドイツシユの贅沢 食べてもキレイなお花たち」

最近、洋花を「エディブルフラワー」と称して、楽しむようになりまし。サラダにちりばめるのが一般的ですが、オードブルを作る際の強い味方にもなります。まず、クラッカーにカッテージチーズをの山のように盛り、そこにフラワーアレンジの感覚で花びらを色よく挿してあげればOK。その際、オリブオイル、ハーブをポイントにすると、味にもメリハリが出ます。



「身も心も透明になれそうな 蓮茶はいかが？」

美人の定義は変化するものではありませんが中国では昔年「ほつそり」がポイントとされています。ところが唐時代には「ほつちやり」がもてはやされた時代でした。なぜなら、玄宗皇帝に愛された楊貴妃がそういう体型だったかららしい。しかし、彼女は自分なりに気にしていたらしく、蓮茶を愛飲していたとか。蓮茶には利尿作用があり、むくみを軽減すると言われています。

そして今、日本でも蓮茶が注目されています。理由は、あのアオサゲをすっきりと着こなすヴェトナム女性の常飲茶だと、少しづつ知られるようになってきた。芳しい香りにはリラックス効果もあるのだから、「心身の美」に一石二鳥のお茶ですね。



花のオーラ、花のマジック

「花の黄金角を知り プロポーション感覚を磨く」

一度、花びらをじっくりご覧ください。永遠に重なることなく、螺旋状に広がっています。これが黄金角（約1.37:1.5度）。また、花びらのつきかたも8枚、8枚、13枚というふうに、一定の法則性があります。これは「フィボナッチ数列」と言われ、1、1、2、3、5……と、隣り合う数の和と同じ。そして、連続する数の比率は必ず1対1.618、「黄金比」と呼ばれています。これらの法則は、私たちが美しいと感じるプロポーション。花、貝殻からパルテン神殿まで、さまざまとところで見ることが出来ます。



「ミモザの花で、家の中に 春風を呼び込む」

ヨーロッパで春を告げる花として親しまれているのがミモザイタリヤでは、3月8日の「女性の日」日頃お世話になっている女性にミモザを贈る習慣があります。この日、街角にはミモザの花束を売る露店が登場。オフランスの女性の机にさりげなく枝置かれたり、子供がママのために花束を抱えて歩く微笑ましい光景を見ることがも。一方、南仏各地で行われるミモザ祭りでは、ミモザの花を投げ合って春の到来を祝います。ミモザには不安を和らげ、氣力を充実させる効果があるとか。この季節、お部屋にミモザを飾ってみませんか。陽だまりのような優しい黄色が心まで温めてくれるそうです。



「花をたむける なぜなら私たちはヒトだから」

1925年。エジプトの王家の谷で、ツタンカーメン王の黄金のマスクが約3300年の時を経て発見されました。その若き王にたむけられていたのが豪華なサクルマギクの花飾り。このことから、王はサクルマギクの咲く春に埋葬され、亡くなったのはミイラ作製の時間を逆算して1月ごろと推察されています。また、約3万年前までヨーロッパや中東を中心にしていられるアンデルタール人にも、埋葬の際に花をたむける習慣があったよう。イラク北部の洞窟で発掘されたネアンデルタール人の化石から、数種類の花粉が発見されています。相手を想うとき、私たちはホモ・サピエンスは花を手にし、花に祈りを込める生き物のようです。



森

麻季

花のときを迎えて

ソプラノ歌手

世界的なテノール歌手、
ブラシド・ドミンゴ氏に認められ、
彼が芸術監督を務める
ワシントン国立歌劇場でデビュー。





清冽な官能。目が離せない歌姫ですね

Shigeaki Saegusa

三枝成彰 作曲家

森さんと初めて会ったのは3年ほど前、僕が作曲した「REQUIEM」(レイクエム)を歌っていただいたときですね。噂には聞いていましたが、彼女の声は、音の粒がきれいに見えるんです。複雑なメロディの場合、音がなんとなくなかってキレがなく聞こえることが多いんですけど、彼女の場合はパッパッパッと玉のような音符の列が見える。高音に飛ぶときも、一発でストーンと正確に決まる。すごい技ですよ。日本にはたかさんの素晴らしいソプラノ歌手がいるけれど、史上初のコロラトゥーラと言えるのではないのでしょうか。森さんの歌い方はどちらかというと理知的。知性と官能の両立って実は難しいんですけど、彼女には清冽な官能がありますね。だから、引く手あまたなんです。お姫様役も似合うし、ちっちゃくて頭がはく気が強いキャラクター、スープレット(女中)役も抜群にいい。あと、僕が見たいのは「フィガロの結婚」のケルビーノ。「ズボン役」と呼ばれる少年の役で、出番は少ないけど強烈な印象を残すから。本来、彼女より低い音域の人がやるんだけど、森さんに天使みたいなお少年は合うと思う。あのスタイルなら、ズボンも間違いなく似合うでしょうね(笑)。

コメディセンスは、ヨーロッパでの厳しい生活と長い冬に培われたのかもしれませんが。悲しみや痛みを抱えた心になまっすぐ届いて、力を与えてくれます」と語る森さん。その力を強烈に感じたのは6年前、同時多発テロから数日後の9月14日、ワシントンでの「ホフマン物語」の舞台。オペラハウスが次の標的になる可能性もあったのに、客席はほぼ満員。森さんが機械人形のオランピア役で出演した1幕のカートコールで、早くも客席は総立ちになったそうです。「音楽が平和を呼ぶように」という出演者と聴衆

癒し、勇気づける音楽の力を信じて

の願いが、ひとつになった瞬間でした。本番前、森さんが心掛けていたのは、とにかくリラックスすること。しかし、超絶技巧の難曲を歌う前はわずかな喉の不調が気になり、不安に陥ることもあったそうです。「そんなときは自分のためではなく、聴いてくださるお客様や、曲を作ってくれた作曲家のために歌うんだと思うようにしています。芸術は神様の遊びみたいなもの。私はクリスチャンなので、神様が歌う場所

と幸せという、純粋な女の子。十代の役ですが、ドラマの深みを表現するには、経験を重ねないと難しいと思います。私自身、デビューから10年経ち、一昨年に結婚もして、彼女の思いが見えてきたような気がしています。外見は年をとっても、心は少女として歌っていきたくてですね」

清純な少女はもちろん、小悪魔的な役やコミカルな役も魅惑的に歌いこなす森さん。「喜劇は合っているみたい。おかしなこと

て、その中に包まれる幸せは特別なものです。贅沢な仕事をこころよく思います」

心を通じた音楽の力を信じている森さん。その輝かぬ歌声を聴いていると、冬のに花があふれ咲く春が来るように、体の中に眠っていた何かが生きて動き出すような気がします。

Maki Mori
東京芸術大学院修了。ワシントン州立音楽院卒業。ミシガン州立大学院修了。98年ワシントン州立音楽院卒業。ワシントン州立音楽院でオペラ部門で優勝しワシントン州立歌劇場でデビュー。以後国内外で活躍を続け、3月にはドレスデン国立歌劇場に「ワグネルの騎士」でデビュー予定。

そのデリケートで透明感あふれる歌声、さらめく宝石を転がすような、類稀なコロラトゥーラの技術は世界各国で絶賛されています。バロックから現代音楽まで歌いこなす国際派の歌姫、森さんにその美しさの秘密と音楽の喜びについて聞きました。

長くきびしい冬のあとに

サントリー・ホールでのコンサートを翌日に控え、シックな花のプリントのドレスでリハーサルに現れた森さん。オーケストラにふわりと被るように、透明な歌声が響きます。曲は「リゴレット」より少女ジルダのアリア「暮わしき人の名は」。ジルダはワシントン国立歌劇場でのデビュー公演で歌った忘れたい役。森さんが一生かけて歌っていきたくてもあるそうです。「ジルダは好きな人の名前を口にするだけ

をものすごく真面目に歌うところが、見ていて面白いんです」と微笑みます。「体に流れる演歌の血のせいかな、日本人は悲しい歌のほうが得意な人が多いようですね。私も以前は、楽しい歌をどう歌うていかわからなかった。日本での毎日は平穩だったので、「楽しい」時間がどんなに大切なのか、あまり実感がありませんでした」

文化庁研修員として渡欧し、イタリヤとドイツで送った約6年の留学生活は、予想以上に厳しいものでした。たとえば人種差別。オペラは西洋のものという意識が強く、東洋人であるというだけで毎週試験を受けさせられるなど、数多くの理不尽な思いを味わったといいます。特にドイツで過ごした年の冬は厳しく、吹雪が何ヶ月も続きました。そんな気候のせいもあり、森さんは精神的にかなり追い詰められたそう。「こんな思いをしてまで、自分はなぜ歌いたいのかと考えました。今日日本に帰ってしまったら私には何もありません。やはり歌が好きでした。一生勉強していきたくて決心がつかない。一生勉強していきたくて財産で、長い冬を知ったときこそ、春が来て、やっと太陽が出たときの喜びがわかりました」

劇場を幸せな笑いで包む、森さん独特の

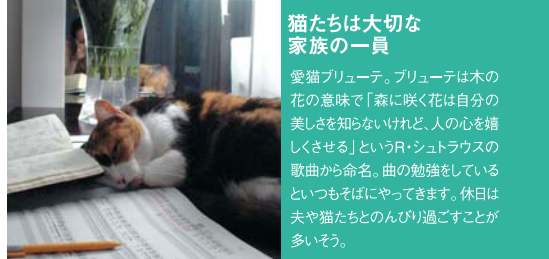


転機となった受賞の瞬間

98年、ブラッド・ドミンゴ世界オペラコンテストの授賞式にて。ファイナルでオペラ「ランメルモールのルチア」より、超絶技巧が必要とされるアリア「彼のあの優しい声(狂乱の場)」を歌い、ソプラノ部門での優勝を果たしました。



竖琴のかたちにデザインされた同コンテストのトロフィー。人生の転機を記念する宝物として、東京の自宅に大切に保管されています。



猫たちは大切な家族の一員

愛猫ブリュエテ。ブリュエテは木の花の意味で「森に咲く花は自分の美しさを知らないけれど、人の心を嬉しくさせる」というR・シュトラウスの歌曲から命名。曲の勉強をしているといつもそばにやっています。休日には夫や猫たちとのんびり過ごすことが多いそう。

花のように 美しく輝いて

百花祭 3/7wed → 27tue

春。柔らかな陽の中で
女性たちは輝きだします。
咲き誇る花々のように。
その姿はまるで
フローラルビューティー。

① 小さなプリムがフランス映画の女優のよう
天然草フンタールを使用したクロッシュタイプの帽子はデザイナーが丹精込めた手作り。大胆な花のモチーフがフェミニンな女性像をアピールします。※3月1日(木)発売
婦人帽子 45,150円
婦人洋品 ●本館タカシマヤ1F ☎03(3709)3111 (代)



① 大判のエlegantなスカーフは
春のパーティの必需品

シルクのロングスカーフを繰取るのは繊細なレースとビーズがかたどる草花たち。Elegantなデザインと優しいピンクベージュが相まってこのうえなく上品な一枚です。
シルクフィッシュネットスカーフ(50×190cm) 17,850円
婦人洋品 ●本館タカシマヤ1F ☎03(3709)3111 (代)



① ミニのチュリップ・ラインが流行

ボリュームな着こなしに注目が集まる今春は、シルエットで“花の装い”にトライしてみたいもの。ブラウスの上に重ねたチュールトップはスカートとしても楽しめる変形アイテムです。
ブラウス(シルク100%) 31,500円 / スカート(シルク100%) 39,900円
チュールトップ(コットン100%) 45,150円
DEUXIÈME CLASSE (トゥーゾイエムクラス) ●南館2F
☎03(5797)5120



① ヴィヴィッドなポピー柄で足取りも軽やかに

色鮮やかなポピーはまるで絵画のよう。イタリア製生地ならではのヴィヴィッドな発色が春の高揚感を伝えます。同布のポーチも添えて出掛けましょう。
イタリアンポピー バッグ(29×22×10cm) 24,150円
ポーチ(20×11×4cm) 6,825円
サザビー ●南館4F ☎03(3708)7281



① ポップでデコラティブ!
遊び心溢れる
チャームの饗宴

花々を囲むようにウサギやカエルなどのモチーフも顔を覗かせる2連ネックレス。イタリアンデザインならではのボリューム感と凝ったディテールを楽しんで。
ネックレス(約50cm) 39,900円
ディエチ・アシニ・ディ・メーノ
●南館1F
☎03(5491)0490

What's new?

Soft & Airily

① 春風にふわりとゆるる
軽やかなミニドレス

サーモンピンクのワンピースは表情豊かな素材感がポイント。胸元のフリルが春らしい軽やかさとリユクスの雰囲気を引き立てます。
ワンピース(金属繊維47%・シルク33%・ポリエステル20%) 199,500円
アスパジ ●本館タカシマヤ2F
☎03(3709)3111 (代)

① パレエシューズを思わせる
キュートなデザイン

フラットシューズの可愛らしさそのままに、大人の女性にも愛されるデザインに。履きやすいローヒールタイプでカジュアルスタイルにもぴったりです。
シュショテ パンプス(ヒール3cm) 14,490円
アカクラ ●本館1F
☎03(3709)3397





G.P. Trend 1

Fashion

今春のピンクは 女性らしさ満開のコーラル系で

日本ファッション協会は2007年春夏のトレンドカラーとして、シャープでモダンなブルーやシルバー、静謐さを表すライトベージュなどに加え、魅惑的な女性らしさを演出するコーラルピンクを挙げています。コーラルピンクはカラーセラ



ピーでは愛の色とも言われ、やさしさや思いやりの象徴とされています。そのためこの色のものを身につけていると、女性はより女性らしく振る舞えるとか。例えば、優しいピンク色のミニドレス。春の光に包まれる姿は想像するだけでも可憐な女性像を喚起させます。パーティなど華やかな場も多い春。色の放つパワーをファッションに活かして、自分を演出するのも素敵ですね。

ちなみにピンクは女性ホルモンを活性化させるため美肌にもなるとか。素肌身につける下着などがより効果的だそうですよ。

G.P. Trend 2

Travel

大西洋上に浮かぶ「花園」 —常春のリゾートアイランド

ポルトガルの首都リスボンから南西に約1000キロ。そこに「冬が春を過ぎに来る」と言われる島—マデイラ島があります。奄美大島ほどの大きさの島は年間平均気温16〜22度という温暖な地。毎日のように新しい花が咲き、花々の絶えない様子はまさに「洋上の花園」です。そして毎年4月末に開催されるフラワーフェスティバルで華やきは最高潮に。島の中心ファンシャルの街を覆い尽くすほどの花の香りが漂うなか、花車や可愛らしく扮装した子供たちのパレードが行われ、ファンタジックな雰囲気包まれます。名物マデイ

ラワインや新鮮なシーフードなど多くの魅力を持つこの島は「大西洋の真珠」と呼び讃えられるリゾート地でもあり、花好きでなくても一度は訪れてみたい場所です。



G.P. Trend 3

Culture

花の「チカラ」と「カタチ」に 触れる本

植物を上手に育てることのできる人を、欧米では敬意を込めて「緑の指 (greenfingers)」と呼びます。フランス童話『みどりのゆび』は、そんな才能を持った少年が主人公。父が武器商人であることを知った少年は、「みどりのゆび」を使って街を花いっぱいにし、武器に

まで花を咲かせようと奮闘します。「災いを防ぎ、平和を招く花のチカラ」を感じる内容は、大人にこそ読んでほしい一冊です。

花といえば、桜の開花が待ち遠しい季節。『紋切り型 花之巻』は桜や梅、山吹など24種の花の型紙と和紙折り紙がセットのユニークな本。江戸時代の「紋切り遊び」を再現したもので、折った色紙に型紙を当ててハサミで切り抜くと日本伝統の花紋の出来上がり。切り抜いた花紋は手紙に貼ったり、テーブルに散らしてお花見の演出など用途も多彩。たくさんの花紋で一足早く春爛漫!



「みどりのゆび」(岩波書店)
「紋切り型 花之巻」(エクスプランテ)
南館5F 紀伊國屋書店



1 春の訪れを告げる プレスレットとピアス

フランスではずらんの花を贈られると幸せになるとか。そんなずらんとりんごの花をモチーフにしたアクセサリー。ピンクの柔らかな色合いがうらかな春を感じさせます。
ジャルダンスクレ プレスレット 16,800円
ピアス 14,700円
レネイト ●南館2F
☎03 (5797) 3061

1 バッグに咲いた 大輪の花がアクセント

丸みをおびたデザインがノーブルな白のレザーバッグに可憐さをプラス。コサージュは革とフェルト地の異素材コンビ。布の柔らかさが加味され、花もよりソフトな表情です。
ユキコハナイ ハンドバッグ (30×15cm)
26,250円
銀座タニザワ ●本館1F ☎03 (3709) 3370



1 上品で可愛い 大人のフローラルスタイル

チュールレースに花のPATCHワークを重ねたロマンティックなブラウスとスカート。清楚な雰囲気の中にレースの透け感が加わり、大人の可愛らしさを演出します。
ブラウス (ポリエステル60%・コットン40%) 16,800円/スカート (ポリエステル60%・コットン40%) 18,900円/アクセサリー・ハンブス (ともに参考商品)
オプスタイル ●南館1F ☎03 (3708) 0027

1 甘さを抑えたクールカラーのシフォンブラウス

ネイビー×ブルーの組み合わせが、甘くなりすぎない小花プリントをシャープに。ボタムの組み合わせ次第で品の良いモードにもカジュアルにも決まるブラウスです。
ブラウス (ポリエステル100%) 40,950円/パンツ (コットン97%・ポリウレタン3%) 30,450円
HANAE MORI ●南館1F ☎03 (5716) 2713



1 希少価値ある黒蝶貝が 気品漂うデザインに

黒蝶貝の中でもめずらしい色を使い、花モチーフに彫刻。花芯にはダイヤモンドをあしらひ、華やかで存在感ある胸元を演出します。
(ステイプン デュエック)
ペンダントトップ 399,000円
シルバーチェーン (約42cm) 86,100円
婦人アクセサリー
●本館タカシマヤ1F
☎03 (3709) 3111 (代)

きらめく、花前線。百花祭

花々が咲き誇る春。玉川高島屋S・Cも、花に包まれます。
 トークショー、ファッションショー、フラワーアレンジの1日レッスン、パーティ……
 一流のゲストを招いての、華やかなイベントがいっぱい。春の玉川高島屋S・Cであなたの「花」を見つけてみませんか。

3月 7 wed → 27 tue

百花祭 フラワーディスプレイ

フラワーアーティストとして第一線で活躍する吉谷桂子さんが審査員をつとめ、1月に一般公募したフラワーディスプレイのデザインから優秀作品を決定。優秀作品のデザインをもとに実際にディスプレイされた花々が、館内を華やかに彩ります。

日時 3月7日(水)～27日(火)
 場所 本館1Fグランパティオ他



昨年度優秀賞 杉山治美さん
「春風の中で」

3月 1 thu → 13 tue

高橋永順・春の花展

フラワーアーティスト・高橋永順さんが、軽やかなタッチで花々を描いた水彩画やシルクスクリーン作品、遊び心たっぷりの器などを展示・販売。また、週末にはワークショップを開催します。

日時 3月1日(木)～13日(火) 10:00～20:00
 場所 本館屋上ルーファリヤール



高橋永順

ワークショップ 参加者募集

- ① 3月 2日(金) 10:30～「桃の節句のシフォンケーキ」
 - ② 3月 3日(土) 13:30～「春の花ミニレッスン」
 - ③ 3月 4日(日) 10:30～「子ども粘土アート」
 - ④ 3月10日(土) 10:30～「大人のお絵描き」
 - ⑤ 3月10日(土) 14:00～「永順・世界の花巡り」(シフォンケーキ&ティー付き)
 - ⑥ 3月11日(日) 10:30～「小箱に描く春」
- 参加費 各回 大人 3,000円(⑥のみ5,000円)
 (教材費含む) ※⑥のみ小学生のお子様12,000円で参加頂けます。
 定員 各回12名
 応募方法 事前に電話にてご予約ください。(先着順)
 申し込み先 ルーファリヤール 03(3709)2222(代)

デモンストレーション&トーク 参加無料

「春の花飾り」
 パステルトーンの、春の花いっぱいのデモンストレーション、合わせて、花を楽しむ日々暮らしのヒントを伺います。
 日時 3月9日(金) 14:00～
 場所 本館1Fグランパティオ

3月 10 sat 11 sun 17 sat 18 sun 24 sat 25 sun

ウェルカムフラワーサービス

各日先着2000名様に、南館1Fプラザ、本館1Fチャンネル前にて春のお花をプレゼントします。花とともに、うらかな春の空気をお持ち帰りください。 ※無くなり次第終了させていただきます。
 協賛 月刊誌「花時間」(発行:角川マガジンス 発行者:角川SSコミュニケーションズ)



2006年ウェルカムフラワーサービス

3月 15 thu

百花祭1日特別セミナー エレガントなパリスタイル 「吉谷桂子・インテリアを楽しむ花」 ～スライドトーク&ミニ蘭アレンジ～

講師に吉谷桂子さんを迎え、パリスタイルのフラワーデザインについてお教えいただきます。さりげなく花を楽しむパリのセンスを、日々の暮らしに取り入れてみてはいかがでしょう。あわせて、おしゃれなミニ蘭のアレンジを実習形式で制作します。

日時 3月15日(木) 13:30～15:30 (13:00開場)
 場所 西館1Fアリーナホール 定員 80名
 参加費 一般3,800円(教材費含む/ティー&スイーツ付)
 コミュニティクラブたまがわ会員、S・Cカード会員3,300円
 主催 玉川高島屋S・C



吉谷桂子

応募方法 官製ハガキに①住所、②氏名、③年齢、④電話番号、⑤職業、⑥コミュニティクラブたまがわ会員及びS・Cカード会員の方は会員と明記の上、下記の宛先までお申し込みください。
 〒158-8502 東京都世田谷区玉川13-17-1 東神開発株式会社
 「吉谷桂子 百花祭1日特別セミナー」GREEN PRESS係

締切 3月2日(金) 当日消印有効 応募多数の場合は抽選とさせていただきます。当選者はご案内の発送をもって発表にさせていただきます。
 ※ご記入いただいた個人情報は、応募以外の目的は一切使用いたしません。

世界文化社 presents 優雅なライフスタイル

Happy Graceful Days!

創刊50周年を迎えた『家庭画報』、3月7日創刊「GRACE」、ひと目ぼれされるHappyスタイルマガジン「MISS」と玉川高島屋S・Cが提携し、「優雅なライフスタイル」をテーマに華やかなイベントを次々と開催します。

GRACE presents FRANCEスタイル ファッションショー

40代—第二開花期、セカンドブーミングを迎えた今の私が、さらさらと輝くスタイルとは? 「優雅」という名のハイクオリティマガジン「GRACE」創刊を記念して、優雅な毎日を楽しむ「GRACEスタイル」を本格的なファッションショーとしてお披露目します。

日時 3月10日(土) 14:00～
 場所 本館1Fグランパティオ



妻正綱 書のパフォーマンス&サイン会

天才書画家・妻正綱さんによるダイナミックかつ美しい書のパフォーマンス。あわせて、著名人たちの座右の銘を魂を込めてしたためた書画集「心のことば」のサイン会を行います。文字に生命が宿る迫力あるパフォーマンスを間近でご覧ください。

日時 3月18日(日) 14:00～
 場所 本館1Fグランパティオ



長塩由実 [レミルフォイユ] フラワーデモンストレーション&トークショー

野原に咲く花のような、花の自然な形を生かした、のびやかなブーケの作り方を、『ナチュラルブーケの基本』の著者、長塩由実さんがレクチャーします。花に触れ、無心に束ねながら花の“気”を感じる。贅沢なひとときをお楽しみください。

日時 3月11日(日) 14:00～
 場所 本館1Fグランパティオ



鮫島正樹 「食べてきれいになる137レシピ」 クッキングトークショー

美と健康の第一人者・平石貴久さんのスペシャルレシピを、おいしく、美しく仕上げた料理家、鮫島正樹さんが、食べることの大切さ、「食べてきれいになる」レシピの秘密を語ります。食を見直せば、身も心ももっと美しくなる!

日時 3月24日(土) 14:00～
 場所 本館1Fグランパティオ



MISS presents シャネル 2007年 春夏コレクション

時代を超えて世界中の女性に愛されているステイタスブランド・シャネル。2007年春夏コレクションを特設フェスティバルでお楽しみください。解説はおなじみ、ファッションジャーナリストの大内順子さんです。

日時 3月25日(日) 14:00～
 場所 本館1Fグランパティオ



大内順子

GRACE presents 林真理子 プレミアムトークショー

直木賞作家の林真理子さんをゲストに迎え、トークショーを開催。現代に輝く優雅な女性たちのライフスタイルについてうかがえます。簡単なお食事とドリンクをご用意したアフターパーティも。

日時 3月17日(土) 14:00～
 場所 西館1Fアリーナホール
 定員 25組50名
 主催・運営 世界文化社
 協賛 玉川高島屋S・C



林真理子

応募方法 官製ハガキに①住所、②氏名、③年齢、④電話番号、⑤職業、⑥同伴者氏名を明記の上、下記の宛先までお申し込みください。
 〒158-8502 東京都世田谷区玉川13-17-1 東神開発株式会社
 「GRACEプレミアムトークショー」GREEN PRESS係

締切 3月2日(金) 当日消印有効 応募多数の場合は抽選とさせていただきます。当選者は招待状の発送をもって発表にさせていただきます。
 ※ご記入いただいた個人情報は、応募以外の目的は一切使用いたしません。

http://www.tamagawa-sc.com

イベントの日時・場所・内容は変更になる場合がございます。また、混雑が予想される場合は整理券を発行することもありますので、事前にご確認ください。

お問い合わせ:玉川高島屋S・Cイベント係 ☎03-3709-2222(代)
 ●表示価格は、消費税を含む総額にて表示しております。

アトリウムダイニングは夜11時まで営業

玉川高島屋S・C 夜9時まで 年中無休

田園都市線/大井町線 ●二子玉川駅前玉川通り TEL.03(3709)2222

営業時間のご案内
 玉川高島屋S・Cは夜9時まで、アトリウムダイニングは夜11時まで、ガーデンアライズ・玉川タカシマヤは夜8時まで営業しております。

- 一部営業時間が異なるショップがございます。
- ガーデンアライズ・本館間は無料シャトルをご利用下さい。

本館はマイクレスフリーゾーンを使用しています。